

## 滝沢総合公園に整備した新しい遊具について

### 1 整備目的

滝沢総合公園は、各種スポーツ施設や修景施設などを備え、スポーツ（動）の場と休息（静）の場が調和した公園として、市内外を問わず多くの方に利用されています。

しかし、令和5年度に策定した「滝沢市公園施設長寿命化計画」に基づき実施したアンケート調査では、子どもの遊び場となる施設が少ないこと、また、障がいの有無や国籍、性別などに関わらず、すべての人が利用できる遊具が設置されていないことが課題として挙げられています。

また、本市では第2次滝沢市総合計画において「やさしさ」をテーマに掲げ、一人ひとりの個性や多様性を尊重し、市民の幸福実感の向上を目指しているところです。当公園についても、市民が幸福を実感できる場となるよう、維持管理や施設更新を進めているところであります。

そこで、滝沢総合公園に市内で初となる「インクルーシブの要素を取り入れた遊具（※1）」を整備することにより、公園のさらなる魅力向上と子育て環境の充実を図り、市民の幸福実感の向上につなげることを目的としています。

（※1）障がいの有無に関わらず幅広い年齢の子どもと一緒に遊ぶことができる遊具



### 2 整備概要

- ・防衛省の交付金（特定防衛施設周辺整備調整交付金）を活用し、公募型プロポーザルを実施し、5社の提案から最優秀の提案を採択し整備いたしました。
- ・施設概要：遊具5基、シェルター1基
- ・事業費：工事請負費 12,100,000円（交付金10,000,000円）

### 3 供用開始について

6月12日（金）10時より現地でお披露目会を実施し、これをもって供用を開始いたします。ただし、雨天の場合、お披露目会は中止としますが遊具の供用は同日時から開始とします。

#### 4 新しい遊具等について

| 遊具等の名称  | 用途・特徴など   |
|---|---|
| <p>チャグチャグ馬コンビ</p>  | <p>滝沢市の伝統・文化の象徴であるチャグチャグ馬コをモチーフにしたデザインの複合遊具となります。滑りにくい設計のスロープは車イスで通ることができ、みんなで一緒にパネルや音の出る遊具で遊ぶことができます。また、パイプスライダーは人工内耳を装着している子どもたちでも安心して滑れるかつ、通気性が高い構造なので滑り面が熱くなりにくい滑り台になっています。</p> |
| <p>ハンモックドーム</p>    | <p>滝沢市の名産物であるスイカをモチーフにしたデザインのハンモックドームは、心地よい揺れを感じることで遊べます。複数人で寝転がって友達と会話を楽しむことで、コミュニケーションや協調性を育むことができます。また、ハンモックドームの天辺には滝沢市ご当地キャラクターのちゃぐぼんが、園内で遊ぶ子どもたちをあたたく見守っています。</p>              |
| <p>りんごトンネル</p>    | <p>滝沢市の名産物であるりんごをモチーフにしたデザインのりんごトンネルは、体を動かす遊びから一歩離れ、子どもが自分のペースで落ち着ける空間です。ASD（自閉スペクトラム症）やSPD（感覚処理障がい）の子どもがパニックになった時に1人で過ごせる場所を確保しています。</p>   |
| <p>ヤマユリスピナー</p>  | <p>滝沢市の花であるヤマユリをモチーフにしたデザインのヤマユリスピナーは、内側に座って回転する遊具です。回す役と回される役の役割分担ができるので会話が生まれやすく、つながりを楽しむことができます。</p>   |
| <p>ラウンドシーソー</p>  | <p>カラフルな色のシーソーです。座るところが広めになっていることで、ゆったりと座って遊ぶことができます。真ん中に座って遊ぶこともでき、子どもたちの中で交流が生まれやすくなります。</p>  |
| <p>シェルター</p>     | <p>遊びに来た子どもの保護者や地域住民が強い陽射しの中でも快適に利用できるように、日除け対策としてシェルターを付けました。シェルターによって日陰が生まれ、快適に子どもを見守ることができる憩いの空間を確保しました。</p>   |